05 | 台本から動画素材と編集用台本を作る

2026年10月30日 · 1.1.3対応版 | プラグインを開く | 案内サイト

1.1.3対応。新機能はプラグインの表示バージョンを確認してご利用ください。

完成した台本を渡し、届いたページで確認し、直したいところをチャットで伝える。 基本の操作はこの3つです。イラストを一枚ずつ発注したり、ご自身でHTMLを書いたりする必要はありません。

目指す完成形は、台本全文の該当するセリフの近くに、実際の画像・動画と編集指示が並ぶ状態です。最後に、編集者へそのまま渡せるZIPファイルにまとめます。

> 初回だけ素材を登録 → 完成台本を渡す → おすすめで制作 → ページで確認 → 修正を伝える → 最新ZIPを編集者へ

1．最初の一回だけ、自分の定番素材を登録する

ご自身専用のProjectで、次の画像をまとめて添付します。手元にないものは後から追加できます。

渡すもの	一緒に伝えること
自己紹介カード・自己紹介画像	自己紹介のときに表示する画像であること
終了画面の画像	そのまま使う完成版か、プレゼントを重ねるテンプレートか
プレゼント画像。2種類以上でも可	正式名称、どのテーマで使うか、案内先URLがあればそのURL
過去動画のURL・参考画像	踏襲したい配色、雰囲気、文字の大きさなど

画像を添付したら、次をコピーして送ってください。

コピーして使う

```
これから動画の編集用台本を作ります。
添付した自己紹介画像・終了画面・プレゼント画像を、私の本人素材として登録してください。

プレゼントA：［ 正式名称 ］。［ 使う動画テーマ ］で使います。
プレゼントB：［ 正式名称 ］。［ 使う動画テーマ ］で使います。
終了画面は［ 完成版 / プレゼントを配置するテンプレート ］です。
```

コピーして使う

参考にしたい動画：［ URL ］

好きな部分：［ 2分ごろの図解の配色、余白、文字の大きさなど ］

次回も再利用できる「本人素材・デザイン設定_最新版.md」を作ってください。

角括弧の中だけ、ご自身の内容へ置き換えます。プレゼントが1種類ならBの行は削除してください。登録していないURLやQRコードをAIに作らせる必要はありません。

設定ファイルと、実際の画像の両方をProjectの情報源へ保存します。 AIがファイルを作ったことと、Projectへ保存できたことは別です。「登録待ち」と案内された場合は、ご自身で情報源へ追加してください。新しいチャットで次の一文を送って、読み取れることを確かめれば準備完了です。

コピーして使う

登録した私の自己紹介・終了画面・プレゼント画像と、デザイン設定を確認してください。実際に読めたものと不足しているものを教えてください。

参考動画のURLだけでは、映像の見た目まで読み取れないことがあります。その場合は、好きな場面のスクリーンショットを添付すると早く進められます。ご自身の素材は、ご自身のProjectで管理します。全員が使うプラグインに追加されるわけではありません。

2．完成した台本を、そのまま渡す

同じProjectで、台本文を貼り付けるか、Markdownファイルを添付します。Googleドキュメントの URLでも依頼できますが、内容を読み取れる接続・共有設定が必要です。読み取れない場合は、台本文を貼る方法が確実です。

まずは、これだけで始められます。

コピーして使う

この台本を、素材込みで編集者に渡せる形にしてください。

登録した私の本人素材・デザインを使い、おすすめ案で一式完成させてください。

台本全文と実際の素材を一緒に確認できるページ、script.html、編集者用ZIPまでお願いします。

スキル名を覚える必要はありません。明示的に選ぶときは、編集者用の素材一式を作るスキル「editor-handoff」が担当します。「おすすめ素材を提案して」だけだと提案段階の依頼になるため、「実際に作って、編集者へ渡せる形まで」と伝えるのがポイントです。

撮影前でも制作できます。撮影後の動画を添付でき、映像の内容も読み取れる環境なら、話者が映る位置や空白を確認して配置を調整できます。原本にアクセスできれば、ZIPへの同梱も依頼できます。大きくて添付できない場合は「撮影原本は編集者へ別送します。その旨を編集メモに残してください」

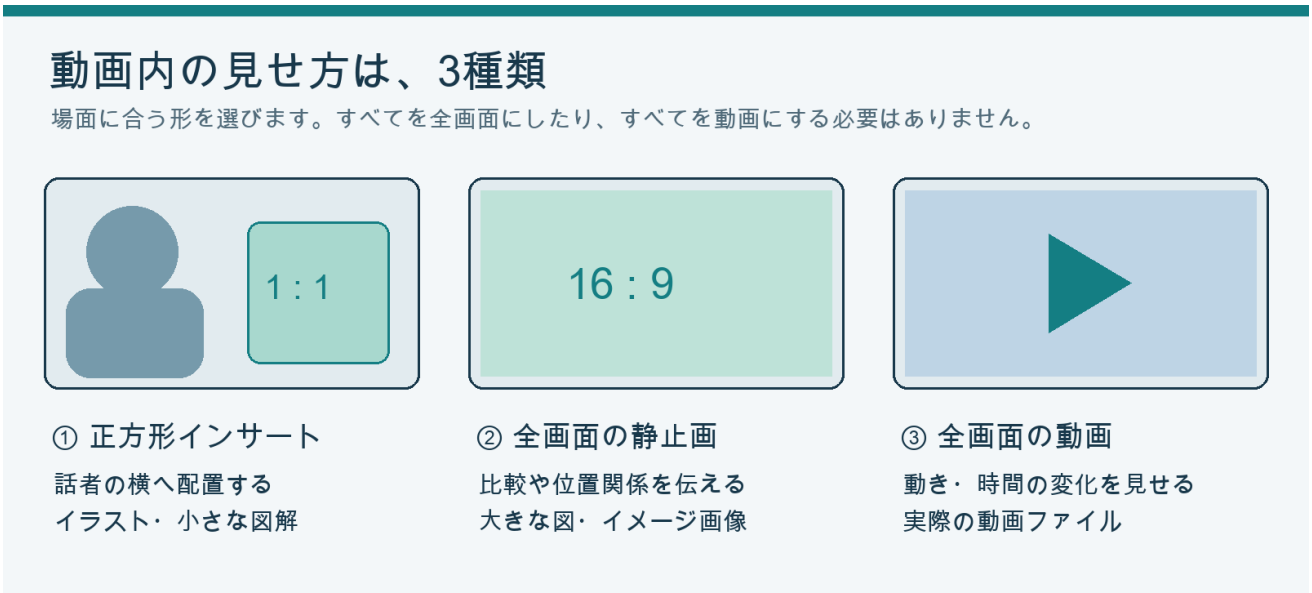
と伝えて進められます。撮影動画がない段階では、実際の時刻ではなく「このセリフから、このセリフまで」を編集の目印にします。

3．「おすすめで一括」と「先に選ぶ」を使い分ける

進め方	送る言葉	届くもの
まず完成形を見たい	おすすめ案で一式完成させて	推奨する実素材入りの一式。変更用の別案も提示
制作前に構成を選びたい	まだ生成せず、素材の種類と挿入箇所を提案して	素材の構成案。選択後に制作へ進む
実物を比べたい	この医学説明は、実画像を見て選びたい	対象箇所の候補画像を制作して比較

初めてなら「おすすめで一括」が簡単です。すべての場面を選び直さず、気になるところだけ変更します。

4．素材の見せ方は、大きく3つ



話者の横の正方形、全画面の静止画、全画面の動画を使い分けます。模式図です。

表示形式	見せ方	向いている内容
① 正方形インサート	話している映像の空白に、小さな画像を重ねる	比較、短い図解、生活場面のイラスト

表示形式	見せ方	向いている内容
② 16:9の全画面静止画	一時的に画面全体を画像へ切り替える	大きく見せたい場面やイラスト
③ 16:9の全画面動画	一時的に画面全体を動画へ切り替える	動き・時間変化を見た方が分かりやすい場面

「イラストか図解か」は表現の種類、「正方形か全画面か」は表示の方法です。内容に合わせて組み合わせます。ストレッチの姿勢などは、実際に行っている人物イラストが向いています。動きが不要な場面に、無理に動画を増やす必要はありません。

動画の実制作には、そのチャットから使える動画生成機能・接続・利用枠、またはご自身の動画素材が必要です。 プラグインを入れただけで外部サービスの契約や料金が含まれるわけではありません。使えない箇所は「制作待ち」として案内されます。動画のプロンプトや開始画像だけが出ている状態は、動画完成ではありません。

5．医学説明は、実画像の候補を見て選ぶ

臓器・筋肉・関節などの形や関係が説明の中心になる場面では、基本の3案を比較できます。

候補	どんな絵か
解剖関係を重視	必要な形・位置・接続・向きを優先した絵
かわいい概念表現	丸い形や柔らかい色などで、親しみやすくした絵
要点だけの模式図	理解に必要な関係だけを残した図

全体と部位の関係や、たとえによる説明が有効なら、4〜5案に増やします。同じ箇所でどれか1案を選ぶための候補であり、すべてを動画中に連続表示する意味ではありません。全場面を3〜5案に増やす運用でもありません。

「解剖関係を重視」は制作方針です。医学的に完全という保証ではないため、先生ご自身でも部位・向き・矢印・ラベルを確認してください。かわいい絵でも、機能や位置関係の誤りをそのまま使うことは避けます。

6．届いた確認ページは、この順で見る

まず、ChatGPTが返した確認用リンクを開きます。台本全文を上から読み、セリフの近くにある素材を確認してください。

1. 本文：冒頭から最後、引用文献まで入っているか。

2. 採用素材：画像を拡大し、動画は再生して確認する。
3. 編集メモ：どこから出し、どこで消し、画面のどこへ置くか。
4. 本人素材：自己紹介、途中の案内、終了画面が自分のものか。
5. 別案：もっと伝わる候補があれば、変更したい案を選ぶ。

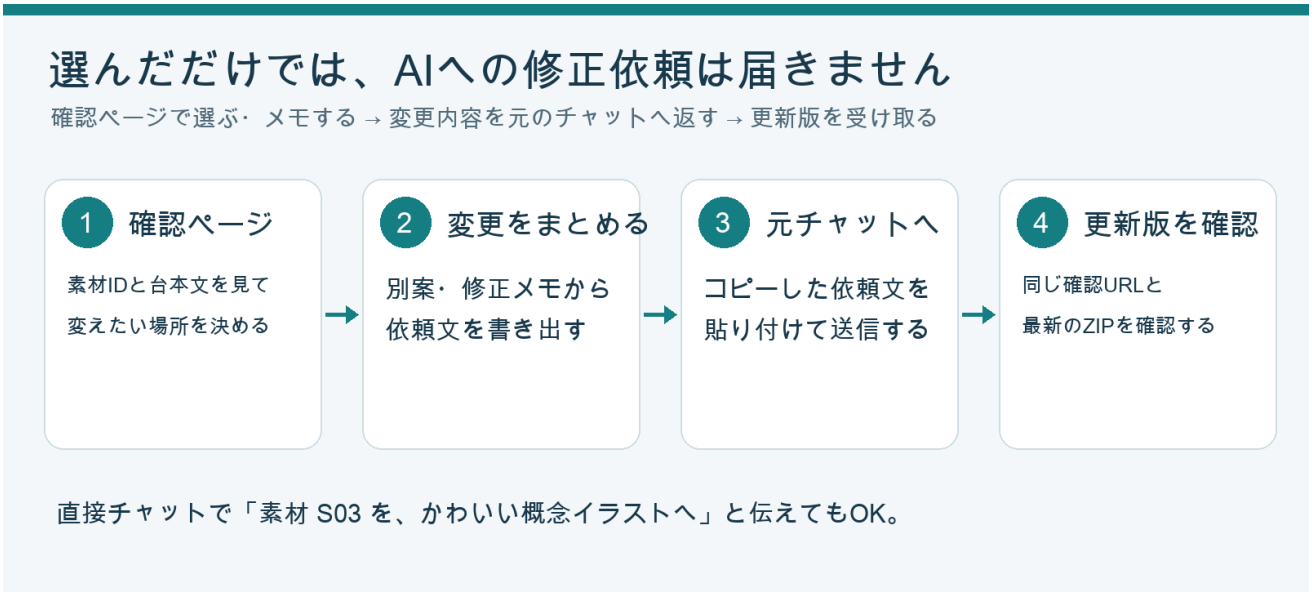
確認ページの用意には、ページ配信機能が必要です。利用できない場合は代わりの確認方法が案内されます。確認ページを使えること、素材が完成していること、動画を再生確認したことは、それぞれ別の確認事項です。

図解だけの一覧、プロンプトだけの文章、本文のない画像ギャラリーでは、このガイドの完成形に到達していません。そのときは次のように伝えます。

コピーして使う

今回欲しいのは、台本全文に実画像・実動画と編集指示が付いた完成形です。
現在不足している素材や出力を確認し、制作できるものは実制作してください。
できないものは、未完成の箇所と必要な対応を明示してください。

7．修正は「どの素材を、どう変えるか」を伝える



確認ページの変更内容を元チャットへ送り、更新版を受け取る流れです。

確実なのは、元のチャットへ「素材ID＋変更内容」を送る方法です。IDは確認ページに表示された番号を使います。IDが見つからなければ、その素材が付いているセリフを引用してください。

コピーして使う

以下の3点を修正してください。ほかの本文・素材は維持してください。

1. 素材 [ID] ：「今の写実的な臓器」から「生成済みのかわいい候補」へ変更。
2. 素材 [ID] ：背景の赤を、登録した青系へ変更。文字はそのまま。
3. 「 [台本中のセリフ] 」の素材：全画面から、正方形のインサートへ変更。

修正後は、確認ページ・script.html・素材・ZIPを同じ最新版にそろえてください。

「この場面は素材なし」「文字を半分に」「この動きだけ動画に」も伝えられます。生成済みの別案を選ぶだけなら、原則としてその画像を再利用します。

ページ上で選ぶ・メモを書く操作だけでは、ChatGPTへ自動送信されません。 変更依頼を書き出せる画面では、書き出した依頼文をコピーして元のチャットへ送るか、選択結果ファイルを添付します。書き出しが見つからない・保存できたか不明なときは、上の例のようにチャットへ直接送れば大丈夫です。

画面で試す：候補を選んで、修正を返す

配布フォルダの demo → script.html を開くと、同じ操作を練習できます。説明用の短い台本と図を使った操作見本です。AIが生成するイラストや動画の品質見本ではありません。

1. 素材S01の下の 「素材の候補を比較・選択する」 を開きます。
2. 案B を選びます。
3. 「この素材の修正メモ」 に、変えたいところを書きます。



操作見本の実画面：案Bを選び、その下の修正メモへ変更内容を入力した状態です。

4. ページ上部の 「修正依頼文を保存」 を押します。
5. 保存されたファイルを元のChatGPTチャットへ添付し、「この依頼を反映して一式を更新して」と送ります。ファイルを開いて本文をコピーし、貼り付けても構いません。



操作見本の実画面：「修正依頼文を保存」を使って変更内容を書き出します。

「変更待ち」「現在のZIPにはまだ反映されていません」と出たら正常です。選択をAIへ渡し、更新された一式を受け取る前の状態を示しています。別の端末で選択を再開したいときは「選択結果JSONを保存」も使えます。最初は修正依頼文の保存だけで十分です。

修正後に返された同じ案件の確認リンクを開き、該当箇所が変わったことを確かめます。ページで選んだだけの古いZIPを、そのまま編集者へ渡さないようにしてください。

今後も使いたい好みなら、さらに「この配色を私のデザイン設定にも反映して」と伝えます。改訂された設定をProjectへ保存すれば、次の制作にも引き継げます。今回だけの変更は、今回の案件だけに残せます。

8．完成したZIPを編集者へ渡す

最新版のZIPをダウンロードして渡します。ZIPには、script.html、実画像・実動画、配置一覧、編集用Markdown、元原稿、開き方のREADMEなどがまとまります。撮影原本を渡した場合は、その同梱状態も確認します。

編集者さんへの案内文は、そのまま使えます。

コピーして使う

動画編集用の台本・素材一式です。

1. ZIPファイルをダウンロードしてください。
2. ZIP全体を解凍・展開してください。
3. 展開したフォルダの中の「script.html」を、ブラウザーで開いてください。
4. 台本の該当セリフの近くに、素材と表示・切替の指示があります。
5. 素材フォルダは移動・削除せず、script.htmlと一緒に保管してください。

確認ページ上の別案は候補です。編集には、採用表示のある素材を使ってください。

script.htmlだけを送ると、画像や動画が開けません。 必ずZIP全体を渡します。本人向けの限定確認ページは、編集者がそのまま開けるとは限らないため、編集者への標準の受け渡しはZIPです。

9．渡す前の最終チェック

- □ 台本全文と引用文献が入っている。
- □ 採用画像が開ける。採用動画は実際に再生できる。
- □ 自己紹介・終了画面・プレゼントが今回の内容に合っている。
- □ 医学画像の部位・向き・矢印・文字を確認した。
- □ どのセリフで出し、いつ切り替えるかが分かる。

- □ 「提案」「制作待ち」が採用素材に残っていない。残る場合は未完成箇所を把握している。
- □ 最後の修正が、確認ページとダウンロードしたZIPの両方に反映されている。
- □ ZIPを一度展開し、script.htmlから素材が開くことを確かめた。

最初の一本は「おすすめで一式作る → 気になる3点だけ直す」くらいで始めると、操作を覚えながら、ご自身の好みに近づけられます。

完成したら、この修正を次回に残そう

動画素材が完成したら、気に入った点や直した理由も残しましょう。ここでいう「独自スキル」は、Projectに保存する本人用マニュアルやデザイン設定です。次の文章を、いま制作していたチャットへ送ります。

コピーして使う

```
この修正を私の独自スキルに反映して。
今後も使うルールと今回だけの変更を分け、既存のマニュアル・設定へまとめてください。
更新版全文と、Projectへ保存・差し替えする手順を教えてください。
```

更新ファイルができたら、保存と次のチャットでの読み戻しまで行います。 詳しい操作と具体例は、06 | 自分専用の作り方を育てるをご覧ください。